

東日本地区会開催（ハイブリッド開催）

令和5年2月21日（火）、宮城県仙台市 江陽グランドホテルに於いて、東日本地区会（代表幹事：白幡一雄/(株)HBA取締役執行役員常務）が例会を開催した。参加者は40名。（現地参加21名、オンライン参加19名）

冒頭、東日本地区会代表幹事の白幡一雄氏からは、「コロナ禍を振り返ると日本のデジタル化の遅れが浮き彫りとなった。一方、現在はデジタル化やDXが加速化していると認識している。本日は経済産業省の千葉様からデジタル関連政策についてお話を伺いたい。」と開会挨拶があった。



まず、東北経済産業局 地域経済部 製造産業・情報政策課・デジタル政策担当 参事官 千葉 雅幸氏から「経済産業省におけるデジタル関連政策の概要」について解説があった。

次に、JISA副会長 尾本 昇氏から「コロナ禍で地区会活動が制約されている中で、今後の「地区会のあり方」がテーマにあげられている。皆様とコミュニケーションをとりながら考えていきたい。」と挨拶があった。JISA副会長・専務理事 宮本 武史氏からは、NTC（National Training Center）プロジェクト、はやぶさプロジェクト、技術コンテストの開催、ASOCIO総会など、JISAの活動等について報告があった。

続いて北海道地区の情勢について、北海道地区理事/(株)HBA取締役執行役員常務 白幡 一雄氏より、東北地区の情勢については東北地区理事/(株)トインクス 顧問 九萬原 敏已氏より報告があった。いずれも前年度比増収・増益の大幅なアップとなったが、一方で人材不足が問題であるとの報告があった。

休憩を挟み、東北地域情報サービス産業懇談会（TiSA）「2023年業界動向セミナー」との共催で、「テレワークを狙う巧妙なサイバーセキュリティ攻撃～今、求められるインシデント対策とは～」と題し、株式会社ディアイティ セキュリティアナリスト 青嶋 信仁氏よりご講演を頂いた。